

No. 23

Sep. 2008

“あ”はすべての原点、“そ”は蘇生。
阿蘇は原点に返って復活する場所。
素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。

素顔の**阿蘇**を探す旅。

大陸

ASO Continent



ゆっくり、のんびり
阿蘇大陸



今ある姿をそのままに。 ふるさとのお宝を守る人々 く阿蘇市・手野

遠くに阿蘇五岳を眺めながら、畑や農家のわき道を歩く。

『手野の名水』と呼ばれる豊かな湧き水で知られる阿蘇市・手野地区は、二千年以上の歴史を持つ集落。

どこにいても、どんな時も、水音が絶えることはない。

ここに、今ある手野の魅力をそのままに守り、伝えようとする人々がいる。豊かな自然に囲まれた穏やかな農村は、訪れる人すべてのふるさとになる。

水田の向こう、山すそに見える集落が手野。

「いい水はおいしかよ」

大きな桜の木が地面に濃い影を落とす小さな三差路に、水が湧き出ている。炎天下を歩いて汗だくになった体が吸い寄せられるように近づくと、農作業に出かける格好をしたおばあちゃんが「この水はおいしかよ」と声をかけてくれた。ペットボトルに満たせば、表面が、霧



『手野の名水』で遊ぶ子どもたち。

を吹いたようにたちまち結露。それだけ水が冷たいということだ。思わずポトルに頬をよせて目を上げると、青田の向こうに阿蘇五岳が悠然とたたずんでいた。

ここは、阿蘇市一の宮町手野。阿蘇神社とは「兄弟神社」にあたる国造神社と、「手野の名水」と呼ばれる湧水を筆頭に、あちこちで豊かな水が湧き出る地区として知られる。半すり鉢状の山すそに抱かれるようにたたずむ集落では畑に夏野菜が実り、そこから見下ろす平地では、遠く見渡す限りの水田に青々とした若い稲が力強く育っている。手野の農村の営みと風景は、人間が土、緑、そして清らかな水に囲まれて暮らす「本物の豊かさ」を思い出させてくれる。

『手野名水会』のガイドで歩く

7月中旬の日曜日、国造神社に多くの人が集まった。A



国造神社境内で、宮川宮司の説明に聞き入る手野散策ツアーの参加者たち。

SO田園空間博物館が主催、「手野名水会」のメンバーがガイドとして手野を案内した「阿蘇の神々と伝説のはじまりをめぐる」と銘打った散策ツアーである。参加者は地元の人々に大切に守られている国造神社を見学し、宮川経幸宮司から神社の歴史

について説明を受けたあと、手野集落を散策。一枚岩で造られた岩屋の中に入ることができる上御倉古墳、集落に祀られる金毘羅さん、小さな馬頭観音…。民家の庭先では、竹力ゴに入れられたサトイモが、小川の小さな滝でクルクルと回転している。「こ



国造神社にある「手野の大杉」。樹齢2千年と言われる。平成3年の台風で倒れ、以来ご神体としてまつられている。



小川の小さな滝を利用したイモの皮むき。

もてなしの気持ち がパワーになる

がんで40分も置いとくと、水の力でイモの皮が自然にむけるとですよ」と語るのは、地区を案内する手野名水会会長の山城今朝雄さんだ。名水会が結成されて約6年、現在7名のメンバーで、手野の水と自然を守るさまざまな活動のほか、地元の散策ツアーの案内などを行っている。誰が来ても、「水がいい」、「空気がいい」と言われる場所でありたい。そのためには、集落を自然の形で残さんといかんし、住民がニコニコ笑ってお客さんを出迎えるような環境づくりをしたいと思うとります」と山城さん。「手野は、田んぼや畑仕事をしていても、すぐそこに湧く水で喉を潤せる。そんな土地なんですよ」



農家の庭先に咲く、タチアオイの花。

今回の散策ツアーでは、メインイベントとして、岩場から清水が湧き出す『手野の名水』をそのまま利用した天然水の流しそうめんも振る舞われ、名水会メンバーの奥さんたちも大活躍した。みな、「料理をしたり、おにぎりを作ったり、男性だけではできないこともあるし」、「よその人に楽しんでもらおうと思うと、パワーが出ます」と笑う。『手野の名水』には水神様が祀られ、水を汲みに来る人が絶えない。辺りは、まるで冷房を効かせたかのようにひんやりとした空気が漂い、汗がスツとひいていく。冷たいそうめんと一緒に味わった竹の皮に包まれたおにぎりも、ふわりとした触感とご飯の香り、漬物の塩気がなんとも言えずおいしい。手野の人々のもてなしの心が味に表れていた。

手野では、『手野名水会』の



(左上/右上) 流しそうめんの会場では、とれたて野菜や湧水で冷やしたトマトも販売。(左下) そうめんツユの器と箸は竹製で、手野名水会の手づくり。(右下) 竹の皮で包んだおにぎり。

岩場から水が湧く『手野の名水』を利用した流しそうめん。冷蔵庫の水と同じくらいキリリと冷えた湧水で食べるそうめんは格別。



「手野名水会」メンバーと、奥さんたち。「手野はよかところですよ！」



日曜日の草刈りを終えてくつろぐ「きよら会」のメンバーたち。「飲み会でも、よく意見交換してます」

ほかに若手グループ「きよら会」も活躍している。「10年前くらいだったですかね。手野も若いモンが大分減ったけん、こままじやイカンばい」という話になって。地域活性に、国造神社でジャズコンサートを開催したのがきっかけでした」。会結成のいきさつを語るのは会長の三城正明さんだ。以来、境内での子ども映画祭りや宮川でのヤ

ママ釣り大会などを開催するほか、缶拾いなど地域の清掃や草刈り、川の清掃活動に汗を流す。「せつかくお客さんに手野に来てもらったのに、川にゴミが落ちとつたらいかんでしょ。平日はみな会社員などの仕事をこなしながら、空いた時間をふるさとのために惜しみなく使う、頼もしいグループである。

手野のお母さん

一方、手野で民宿つかさを経営する山部マサ子さんは、知る人ぞ知る「手野のお母さん」だ。手野で生まれ育ち、手野のことなら知り尽くしている人物。マサ子さんが丹精込めた野菜で作る手料理を食べ、農家の庭先でのくつろぎを得るために、全国から人が訪れる。「お客さんからの年賀状には、今年も熊本にあがります」と書いてあつとですよ」とマサ子さん。広い畳敷きの部屋には縁側があり、庭先から涼やかな風が舞い込む。部屋には特別な「飾り気」など一切ない。幼い頃祖父母の家を訪れて川で遊び、縁側でスイカをほおばった夏が帰ってきたようだ。マサ子さんも、「お客さんとは、親戚のような付き合いになつとります」と笑う。話を聞きにうかがった日は、冷たいお茶と、ちまき、膾(なます)、ぜんまい、座禅豆、地キユウリの漬物など、すべて手づく

りのお茶請けが並んだ。「料理は心が入つとらんと伝わらん。できるだけ作り置きはせんで、その日作った物を出します」。食の名人として健康づくりに取り組んで20年の言葉が染みる。普段は一人。忙しい時は近所の奥さん方に応援を頼むという。「お客さんからパワーをもらおうとです。人間は働いとつたほうが、足腰がしゃんとするけんね」



この日、マサ子さんが用意してくれたお茶請け。どれも素朴で美味だが、特に作りたての座禅豆は味が染みすぎず、絶品だった。



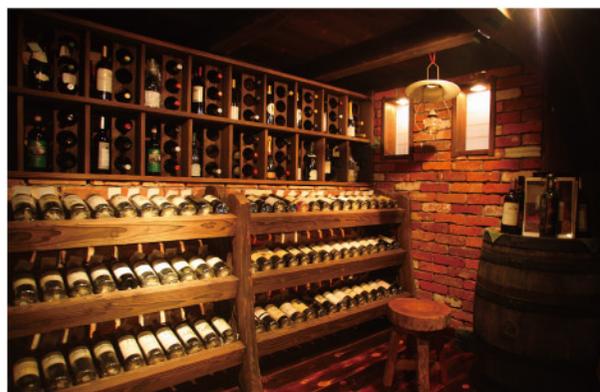
「民宿つかさ」の山部マサ子さん。「趣味は三味線。今日も師匠から練習しよるかい、と電話がありました。毎日忙しくしよります」と笑顔。民宿つかさ：1泊6000円～、昼食のみ1500円～ 要予約/電話：0967-22-2791



レストランに隣接して『民宿かわせみ』もある。お風呂もご主人の手づくり。リモナイト鉱石の遠赤外線効果で体がポカポカになる。



『森の駅どんぐり』の菅さん夫婦。木々や山野草、豊かな湧水に囲まれた建物は、まさに森の中にたたくも隠れ家だ。



レストランの半地下にある、ご主人こだわりのワインセラー。なかなか手に入らない逸品もあるとか。天然の湧水の冷気をパイプで引くことで、室内の温度を低く保っている。



『森の駅どんぐり』の料理。旬の野菜を使った四季料理はどれも、見た目にも美しい。写真の料理は内容おまかせで 2500 円。森の駅どんぐり：要予約／電話：0967-22-5539

旬を運ぶ農家レストラン

手野には、木々に囲まれ清流が絶えず水音を響かせる敷地内で自家製野菜の料理を出す農家レストランもある。その名は『森の駅どんぐり』。経営する菅乃保留さんと美佐子さん夫婦はふたりとも地元出身で、敷地はご主人の実家である。レストランのある家屋は米蔵を移し、古い材料を集めて増築し、約2年前に完成。内部では古い和の部屋に、西洋のランプや暖炉がよく似合っている。家具も含め、ふたりで買い集めてきたものだそう。壁や床などもご主人の手づくりで、つわぶきなどの山野草が茂る緑豊かな庭は、「もう25年も前からいろいろ手を入れよります」と乃保留さん。出来上がった料理を運びながら、「主人は一日中庭や家に手を入れていて、ちっともじっとしとらんとですよ」と美佐子さんが笑う。

「旬の物をおいしく食べてもらう」ことがモットー。野菜そのもののうま味、歯ごたえがたまらない。「こがん料理ば食べよつたら、風邪なんかひかんです。病気せんですよ」。乃保留さんの言葉にうなずくと、開け放した窓から心地よい風が舞い込んだ。

「今ある手野の魅力をそのままに、訪れる人に伝えたい」。ふるさとの良さを少しでも多くの人に発信しようとするこの地域は、阿蘇地域振興デザインセンターが阿蘇全域で3年前から進めている『集落型グリーンツーリズム』のモデルにもなっている。古き良き農村風景を残し後世に伝えることは容易ではないが、手野ならきつと、いつまでもそのままに、訪れる人のふるさとであり続けてくれるだろう。

阿蘇は神々とともにある～国造神社 御田祭(おんだまつり)



国造神社の宮川経幸宮司。



作柄を占う御田植式
(撮影：柏木亨介さん)。

手野のシンボルであり、地元の人々に大切に守られる国造神社は、阿蘇神社の北東に位置し、「北宮」とも呼ばれる。約2千年前の創建と伝えられ、阿蘇神社の祭神である健甞龍命(たけいわたつのみこと)の第一子である国造速瓶玉命(くにのみやつこはやみかたまのみこと)とその家族を祭神とする。

毎年7月に国造神社で行われる『御田祭』は、阿蘇を開拓した神々が、稲の生育を見てまわるといふ農耕神事。同じ神事は阿蘇神社でも行われ、国の重要無形民俗文化財に指定されている。白装束の女性たちは「宇奈利(うなり)」と呼ばれ、頭上に運ぶのは神々への供え物。田男、田女とともに国造神社とお仮屋を往復する。復路では御田歌(おんだうた)が奉納され、神輿(みこし)に向かって稲の苗を投げ、今年の作柄を占う御田植式も行われる。阿蘇の農耕文化を象徴する、地区をあげての伝統ある神事だ。



ゆるっと
南阿蘇
めぐり

芸術に触れ、収穫を祝い、里人の暮らしに触れよう！

開催期間：2008年10月1日(水)～11月16日(日)

南阿蘇で秋を満喫するイベントへ出かけてみませんか。



EVENT 1 **みなみあそくらしめぐり**

「住民のくらし」がテーマ。「食ぶる」では、村内の飲食店で期間限定の料理を楽しめ、「さろく」では、ガイドとともに地域を歩き里の暮らしに触れることができます。

●開催期間：2008年10月1日(水)～11月16日(日)
●開催場所：南阿蘇地区
●問い合わせ：あそのみなみのみなみあそく「くらしめぐり」実行委員会
●TEL：0967-62-9435(南阿蘇村商工会内)
●http://www.kumashoko.or.jp/minamiaso

宿泊パック・・・・・・・・・・・・・・・・

「みなみあそくらしめぐり」と宿泊がセットになってお得！

●宿泊施設：南阿蘇地区の旅館・ホテル
●問い合わせ：南阿蘇村観光協会
●TEL：0967-67-2222
●http://www.minamiasokanko.jp



EVENT 2 **南阿蘇村 2008 谷人たちの美術館**

南阿蘇村にある39の会場で、南阿蘇の作家やアーティストの作品が展示・販売されます。特別イベントも開催されるので楽しみに！

●開催期間：2008年10月1日(水)～10月14日(水)
●開催場所：南阿蘇地区39会場
●問い合わせ：谷人たちの美術館実行委員会事務局
●TEL：090-4995-1067
●http://www.tanibito.net/

EVENT 3 **えほんのくに**

「絵本」をキーワードに、南阿蘇の自然や文化、暮らしを紹介。読み聞かせや絵本コンクールも開催されます。

●開催日：毎週金、土、日曜日に絵本展示中
●開催場所：南阿蘇地区
●問い合わせ：南阿蘇えほんのくに事務局(如水館 阿蘇分館内「えほんのおしろ」)
●TEL：0967-67-3345
●http://www.aso.ne.jp/~ehon

EVENT 4 **あそのみなみの あきまつり**

農畜産物の販売や体験コーナー、ステージイベントなど。地元の人々とともに、収穫の秋を祝いましょう。

●開催日：2008年10月26日(日)
●開催場所：あそ望の郷くぎのみはらし広場特設会場
●問い合わせ：南阿蘇村役場 産業振興課
●TEL：0967-67-1111
●http://www.minamiaso-v.kumamoto-sgn.jp

EVENT 5 **～南阿蘇の文化を拓く～ 第4回南阿蘇村文化祭**

コーラスや太鼓のステージ、貼り絵やかずら細工の展示ほか、クラフト体験には一般の参加も可能です。

●開催日：2008年11月2日(日)、3日(祝)
●開催場所：長陽中学校、長陽体育館
●問い合わせ：南阿蘇村 教育委員会
●TEL：0967-67-1602

路線バス実証実験走行 **ゆるっとバス** 詳細は南阿蘇村HPをご覧ください。 <http://www.minamiaso-v.kumamoto-sgn.jp>

●運行期間：平成2008年10月18日(土)～11月3日(月) ●運行時間：立野駅～高森駅間 9:45～17:45
●運賃：1人1回100円(幼児は無料) ●問い合わせ：南阿蘇村役場 企画課 ●TEL：0967-67-1111

お問い合わせ **ゆるっと南阿蘇めぐり実行委員会事務局(南阿蘇村役場企画課)**・・・ TEL：0967-67-1111
財団法人阿蘇地域振興デザインセンター・・・・・・・・・・・・・・・・ TEL：0967-22-4801

(財)阿蘇地域振興デザインセンターホームページ <http://www.asodc.or.jp>

阿蘇の魅力を動画で配信！「阿蘇テレビ」 <http://www.aso-tv.com/>

阿蘇広域観光サイト「阿蘇ファンクラブ」 <http://www.asofan.net/>

週末のお出かけはこれで決まり！ラジオ番組「ゆっくりのんびりASO大陸」(エフエム熊本) 毎週土曜日 12:30～13:00

ASO-NAVI
阿蘇ナビ
<http://www.asonavi.jp>

